

君津イオンの森の育成・再生プロジェクト

ノウサギ・シカによる苗木への食害対策の検討

千葉大学大学院 園芸学研究科 銭谷卓人

背景

- ・ 苗木がシカやノウサギによる食害によって衰弱・枯死してしまう・・・
- ・ 里山型森林として人の利用と野生動物の保全の両立が求められている。
- ・ 柵による物理的な防除では、生物多様性保全ができない。

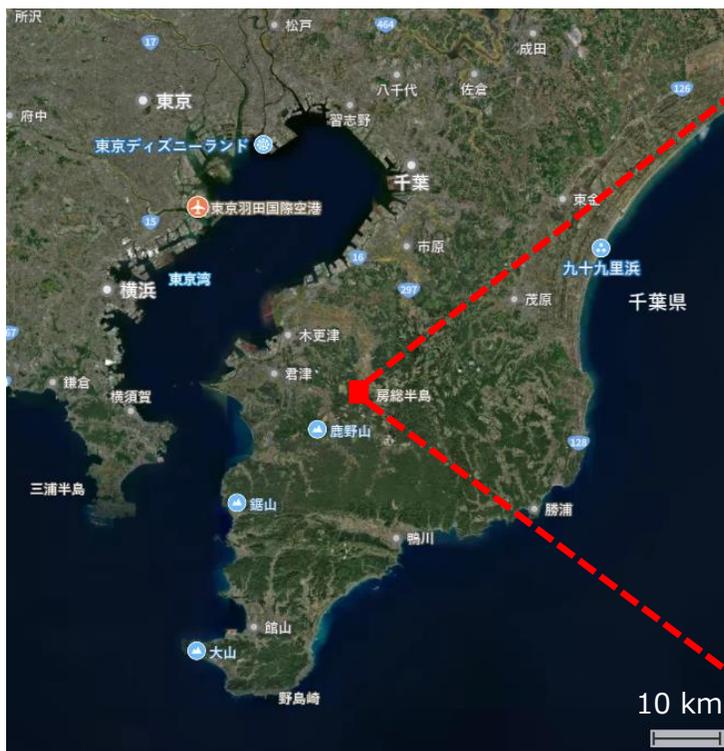
目的

シカ・ノウサギによる苗木への食害対策の検討

- ・ 生態系サービスを活用し、人の利用だけでなく野生動物の利用の場を提供する

対象地

君津イオンの森



Yahoo!地図より転載



Yahoo!地図より転載

千葉県君津市戸崎(戸崎国有林内)
Tozaki, Kimitsu City, Chiba Prefecture (in Tozaki National Forest)

調査方法

食害対策の検討

既往研究や野生動物の食害対策を調べ、君津イオンの森に適した食害対策を検討する

処理区の設定 (食害対策の実施)

君津イオンの森に苗木の植樹と各食害対策を実施し、処理区を設定する

食害数と被害度の フィールド調査

フィールド調査で処理区内の苗木がノウサギ・シカによる食害の数や被害の程度を記録する

各処理効果の測定

各処理区でノウサギ・シカによる食害数と被害度を分析し、各食害対策の効果測定する

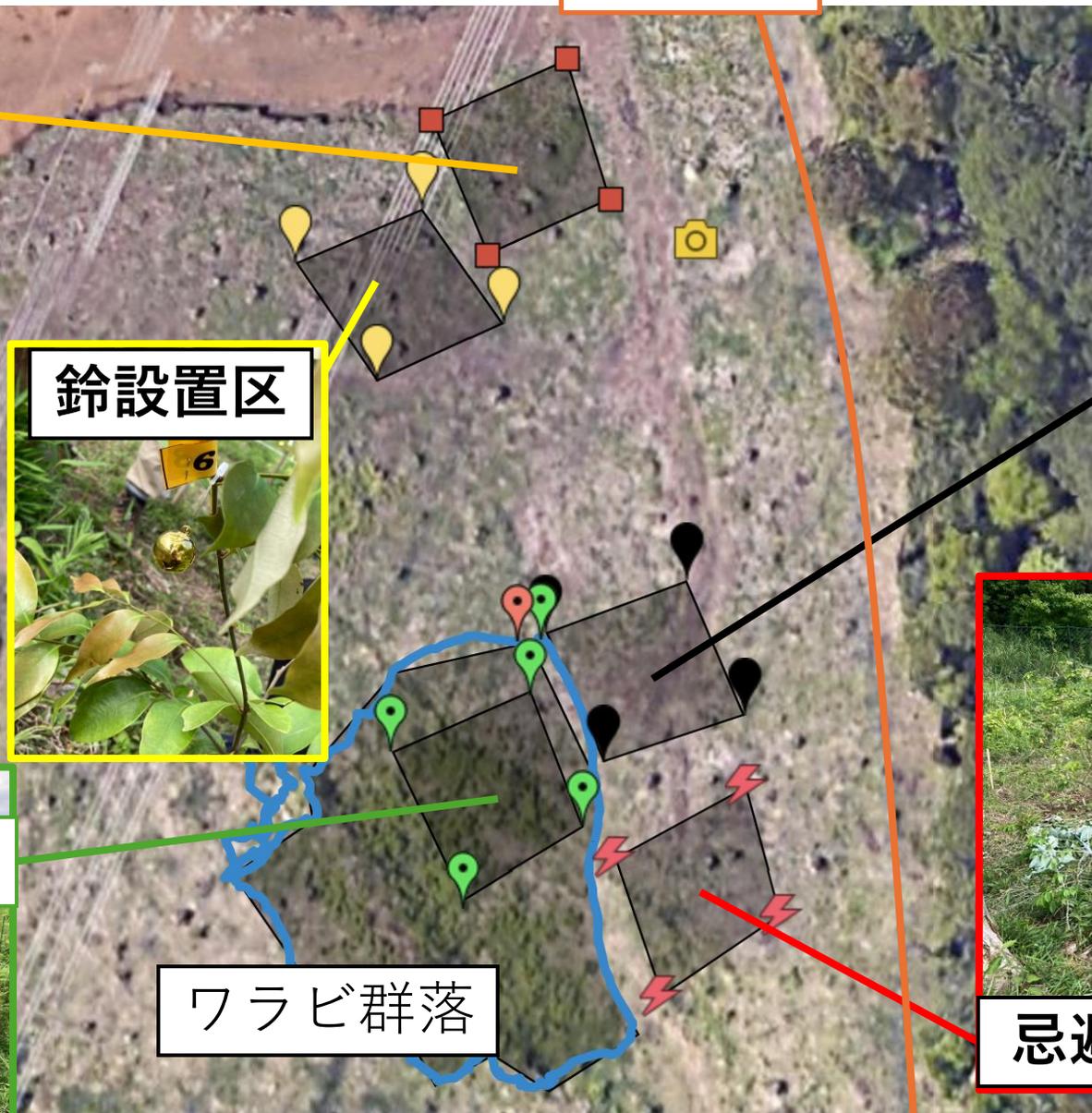
処理区の設定

- | | |
|------|------------------------|
| 下刈り区 | 下刈り後、苗木を植樹する（通常の管理） |
| 忌避剤区 | 下刈り後、苗木に忌避剤を塗布する |
| 鈴設置区 | 下刈り後、苗木に鈴を取り付ける |
| 目隠し区 | 下刈りを省略し、雑草内に苗木を植樹する |
| ワラビ区 | 下刈りを省略し、ワラビ群落内に苗木を植樹する |

※下刈りとは・・・苗木の成長を阻害する雑草木を刈払う作業



処理区の設定



保護ネットからの距離が同程度になるように調査区を設定した

食害の判別

シカ食害

断面が不揃いで、歯型が残る

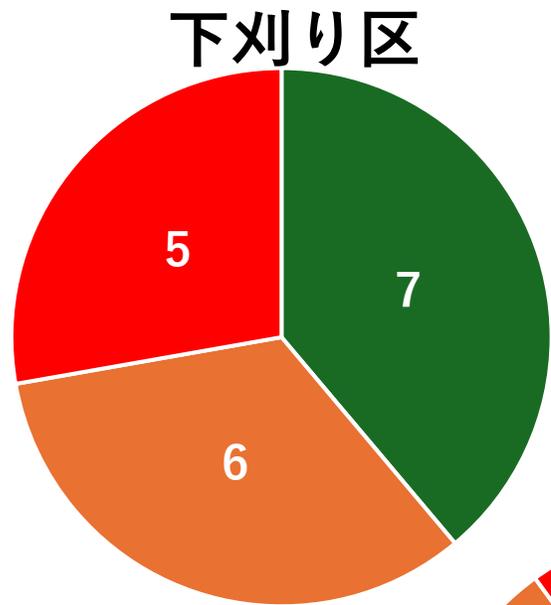


ウサギ食害

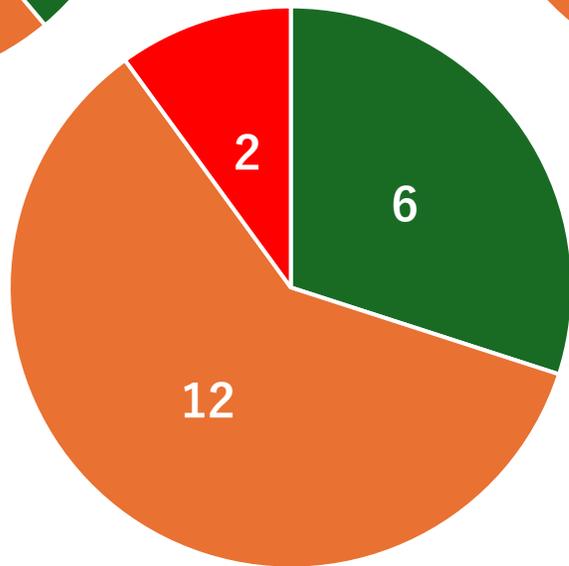
鋭くスパッと切られた断面



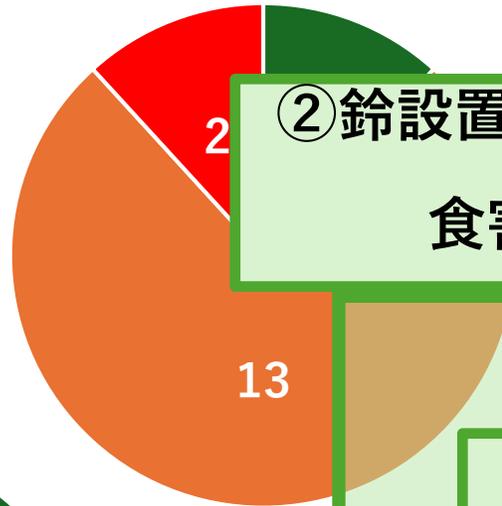
ノウサギ食害が発生した苗木



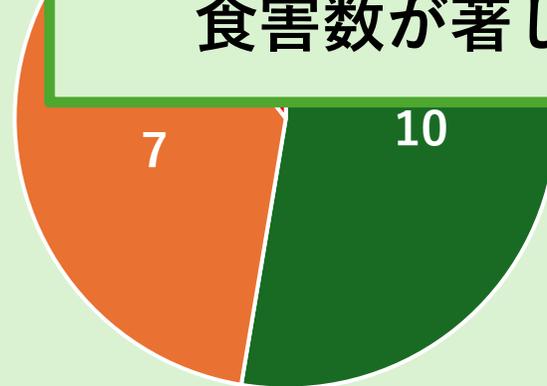
目隠し区



忌避剤区



鈴設置区



ワラビ区

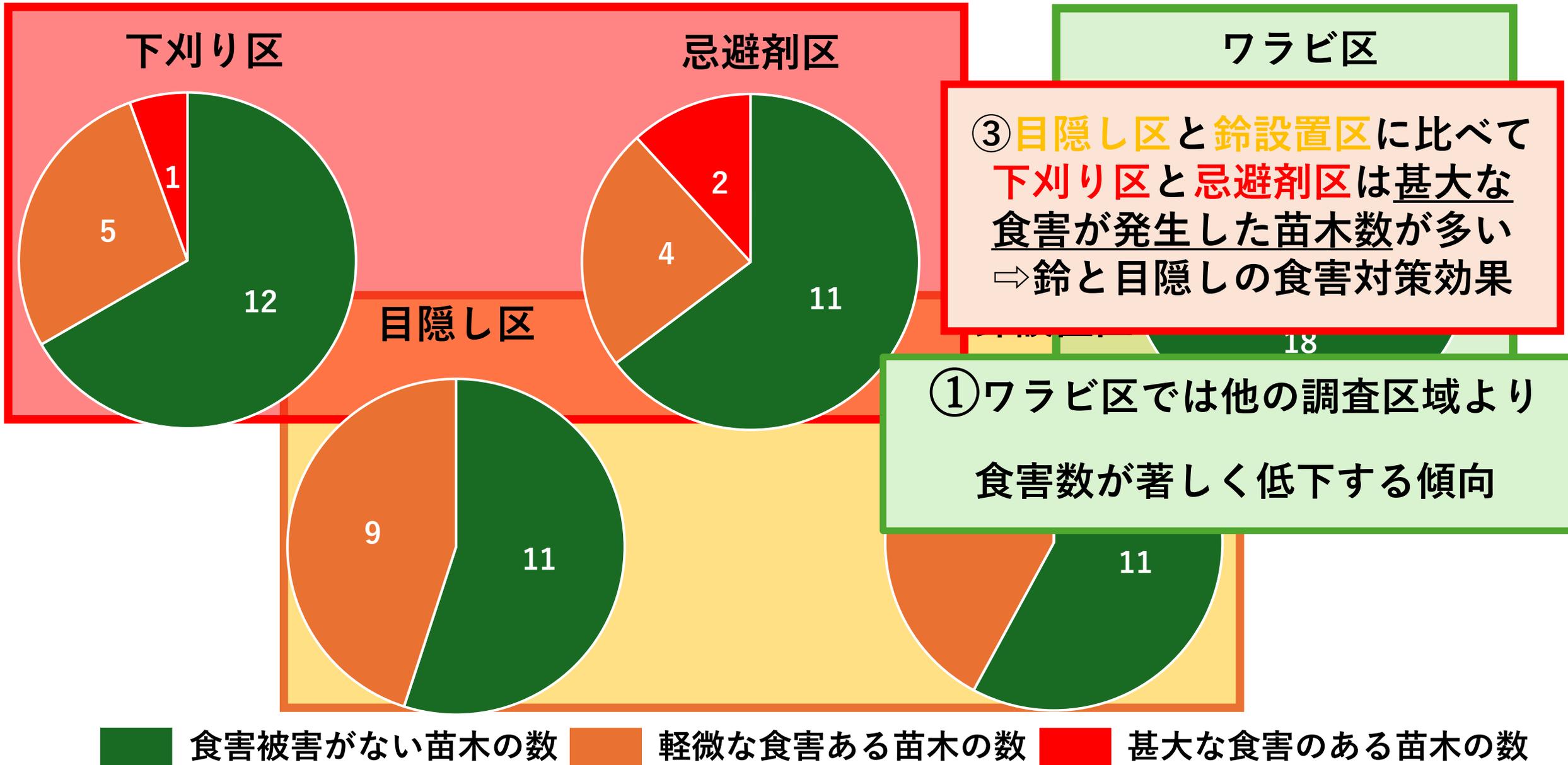


②鈴設置区では、ワラビ区の次に食害数が低下する傾向

①ワラビ区では他の調査区域より食害数が著しく低下する傾向

■ 食害被害がない苗木の数 ■ 軽微な食害ある苗木の数 ■ 甚大な食害のある苗木の数

シカ食害が発生した苗木



新たな里山型森林づくりの提案

①苗木の植栽とワラビを共に植栽する

- ・ワラビによる野生動物忌避効果に期待
- ・苗木植栽数の適正化

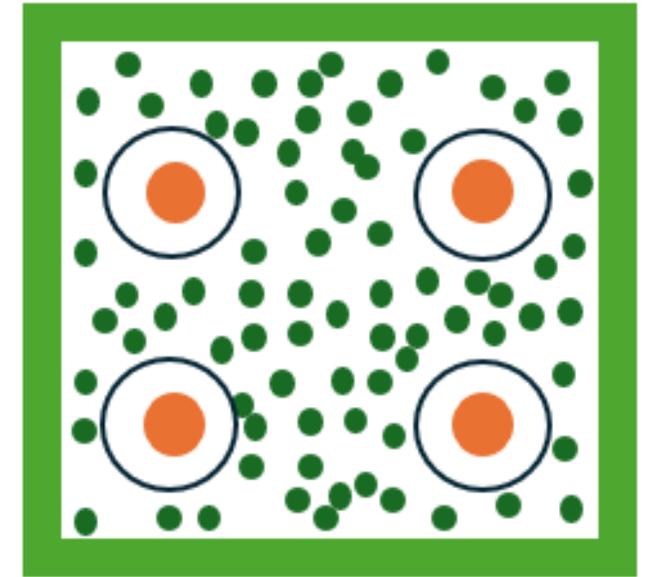
②全体の下刈りを省略し、ツボ刈りで管理

- ・坪刈り※による苗木の光環境の改善
- ・下刈りの省略による省力化

※苗木の成長を妨げる雑草木のみを取り除く

③苗木に鈴を設置し、音による防除

- ・音による食害対策



- : 雑草木
- : 苗木
- : ツボ刈り区域
- : ワラビ帯

➡ 生態系を活用した自然豊かな里山型森林づくりへ